

事業報告

平成30年度 教育事業

信州高遠自然みつけ隊～秋編～

平成30年10月20日（土）～21日（日）

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

○子どもたちに豊かな自然体験を経験させるとともに、科学的好奇心を育ませる。

また、他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

時		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
10月20日（土）	13:00～13:30 受付 13:30～ 開会式	受付・開会式	ネイチャーゲーム 散策	クラフト活動 フォトフレーム作り	タベのつどい	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝	
時	6	7	8	9	10	11	12				
10月21日（日）	起床	朝のつどい 朝食	荷物整理	きのこ観察	（野外調理） 楽しもう！	秋の味覚を	閉会式・解散	12:00～12:30 閉会式 12:30～ 解散			

～参加者～

7家族（大人：12名、小学生：8名、幼児：2名） 計：22名

（長野県、愛知県、東京都）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 散策・オリジナルフォトフレーム作り

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺を散策しながら木の枝や木の実等を採集し、オリジナルのフォトフレーム作りを行った。フレームの回りを採集してきた材料や準備しておいたカラフルなマカロニクラフトの材料、紙粘土などを使い、思い思いのデザインに飾り付け、オリジナルのフォトフレームを作成した。材料の特性を生かし、立体的で素敵な作品に仕上げることができた。



活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

プラネタリウムを利用し、秋の星座や宇宙についての説明を聞いた。広大な宇宙の広さの説明や星座の成り立ちの話に聞き入っていた。その後300mmの天体望遠鏡を使って火星や月など夜空を観察したり、実際に屋外に出て指導員の説明を受けたりした。

天気にも恵まれ、秋の満天の星空を満喫することができた。



活動Ⅲ きのこと観察

講師：信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員

東尾根を散策しながら、自生している「きのこ」の観察を行った。今年はきのこの観察には時期的に少し遅かったようであるが各家族とも数種類のきのこを見つけることができた。子どもたちは林の中や枯葉の下などを熱心に探し、見つけたきのこの名前やどんな特徴を持っているかなど、指導員の説明を聞きながら観察を行った。



活動Ⅳ 野外調理

「秋の味覚を楽しもう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

秋の味覚「きのこ」をたっぷり入れた「きのこ汁」と「炊き込みご飯」をつくった。今回も伊那市にある「きのこ王国」の協力をいただき、きのこの菌床をお借りし、子どもたちは菌床から生えているきのこを収穫する体験も行った。

家族で協力し、火起こしから仕上がりまでスムーズに行うことができ、秋の味覚を十分に堪能することができた。



～参加者の声～

- ・スタッフのサポートもすばらしく、説明してくれる講師の先生も専門家で、参加者を楽しませ、興味を広げてくれた。ごはんもとてもおいしかった。
- ・子どもがみんなとても仲良くして嬉しかった。
- ・各講師の方の熱意が伝わってきて素晴らしかった。
- ・もう少し家族間の交流があればさらに楽しかったと思う。

～成果と課題～

- クラフトではオリジナルフォトフレーム作りを行った。飾り付けに使う素材は施設周辺の自然散策をしながら収集したものを使用したことにより、オリジナリティに富んだ作品に仕上げることができた。一人一人がとても満足していただけた。
- きのこ観察は日常生活の中ではなかなかできないとのことで安全に配慮したエリアの中で行えたことはよかったと好評を得た。きのこのシーズンが年により違うので種類や数の上で違いが出てしまうことはやむを得ないが今後も続けていきたいプログラムである。
- 2日目のきのこ観察から野外調理までのスケジュールが忙しく、品評会をもう少しゆっくり時間をかけて行ってもらえるとありがたいという声をいただいた。閉会式をもう少し遅くすることも可能なので検討したい。



事業報告

平成30年度 教育事業

信州高遠自然みつけ隊～晩冬編～

平成31年2月23日（土）～24日（日）

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

○子どもたちに豊かな自然体験を経験させるとともに、科学的好奇心を育ませる。

また、他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

時		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
2月23日（土）		受付・開会式	ネイチャーゲーム 散策	オリジナルスプーンづくり	クラフト活動	夕飯のつどい	入浴	星座観察		就寝	
時	6	7	8	9	10	11	12				
2月24日（日）	起床	朝のつどい	朝食	荷物整理	アニマル トラッキング	ミニパフェづくり	寒天ゼリー&アイスの ミニパフェづくり	閉会式・解散			

～参加者～

7家族（大人：10名、小学生：9名、幼児：2名） 計：21名 （長野県、東京都）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 散策&ネイチャーゲーム・オリジナルスプーンづくり

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

硫黄沢周辺においてネイチャーゲーム（オノマトルーペ・木に顔をつくってみよう）を行い自然に親しんだ後、次年度より活動プログラムとしても提供するオリジナルスプーンづくりを行った。硬い木の皮に悪戦苦闘しながらもナイフで丁寧に木を削ったり、電熱ペンで装飾したりして一人ひとり自分だけのスプーンをつくることができた。



活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

プラネタリウムで冬の星座を鑑賞した後、300mmの天体望遠鏡を使いオリオン大星雲の観察を行った。その後屋外で指導員の解説を聞きながらプラネタリウムで学習したシリウスやベテルギウス等の星を観察した。天候にも恵まれ絶好の条件で実際の星空を観察することができた。



活動Ⅲ アニマルトラッキング

講師：信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員

硫黄沢沿いを散策し、動物の痕跡等の観察を行った。雪上での観察は出来なかったが、シカのフンやアカゲラが木をつついた痕跡から動物たちの姿を想像することが出来た。指導員が用意した実際のイノシシのキバを子どもも大人も興味津々で見入っていた。指導員の解説以外にも子どもたちが様々な自然物発見し、嬉しそうな顔でボランティアや保護者に伝える姿が印象的であった。



活動Ⅳ おやつづくり

「寒天ゼリー&手作りアイスクリームのミニパフェ」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

寒天を使いゼリーを作成した。ゼリーを固める間に雪と塩をビニール袋に詰め、生クリームや牛乳などの材料を入れたペットボトルと共に包み、投げたり転がしたりして冷やし、アイスクリーム作りを行った。最後に各班で作った寒天ゼリーとアイスクリームや装飾用の食材を用いてミニパフェづくりを行った。



～参加者の声～

- ・子どもが自然と触れ合う素敵なプログラムでした。
- ・たくさんの体験をして欲しいという趣旨が伝わりました。すべての体験が五感を刺激しました。
- ・専門家の方々のお話も小さな子どもにもわかりやすく興味がわくような進め方で良かったです。
- ・雪がなかったのが個人的には残念でした。

～成果と課題～

○2日間で様々な活動を展開し、普段の生活では体験できないとても充実した2日間だったとの意見を聞くことができた。

○1日目に作ったスプーンを2日目に使ったり、1日目に歩いた道を2日目に詳しく解説してもらったりと一貫性のあるプログラムができ、参加者の満足度を高めることができた。

- 2日間多くのプログラムを行い、子どもたちは楽しんでいましたが、親にはやや疲れも見られた。もう少しプログラムに余裕を持つか、親の負担を軽くさせるプログラムの検討があると良いと感じた。
- 暖冬により雪がなく、雪のプログラムを楽しみにしていた参加者は残念そうだった。毎年、雪の有無によってプログラムが左右される為、雪のプログラムを実施する場合はもう少し時期を早めることを検討する必要がある。

